

きこえしんじゅ
佐具叡神社



I-5-②-a



I-5-②-b

I-5-①

当社は、平安時代初期に編纂された法相宗である『延喜式』の神名簿に記載された神社（延喜式内社）の一社で当時朝廷から崇敬を受けていました。現在では、すたれて明治年間に名取市愛島笠島の道祖神社（佐信乃神社）に合祀されました。旧社地は塩平平北野にあったといわれています。

延喜式内社は陸奥国に100社あり、半数の50社が限内に鎮座していました。そのうち名取郡内には2社あったといわれ、当社以外に多加神社（仙台市富沢の多賀神社と書われる説が有力であるが、名取市高柳の多賀神社と言う説もある）がありました。これらの式内社のなかには、古代から現在に至るまで連続と人々の信仰を集めてきた神社も少なくありませんが、多くは中世に衰退し所在地についてはっきりしないところも多くあります。

I-5-①



I-5-②-c

道祖神社

(境内に合祀した佐具叡神社がある)

I-5-②-c



I-5-②-d

現在の佐具叡神社

I-5-②-d

かさしまはいじあと
笠島廃寺跡

所在地：名取市愛島笠島字西台

I-6-①

笠島廃寺跡は、現在の佐信乃神社（道祖神社）の東邊道沿いに位置し、東街道の名残をどめていたわたらの竹やぶの中にひっそりと存在しています。

昭和26・27年に発掘調査が行われ、礎石のある土壇状遺構や古代の布目瓦などが出土しました。

小規模な発掘調査だったので詳細については不明な点が多いが、出土した遺物から奈良・平安時代頃の私的 성격の寺院跡とされています。

I-6-①



I-6-②-a

笠島廃寺村近

I-6-②-a



I-6-②-b

笠島廃寺の礎石

I-6-②-b